

2018年8月16日

**【格付維持】****三井住友海上火災保険**

発行体格付： AA [格付の方向性：安定的]

**あいおいニッセイ同和損害保険**

発行体格付： AA [格付の方向性：安定的]

コマーシャルペーパー： a-1+

**三井住友海上あいおい生命保険**

保険金支払能力： AA [格付の方向性：安定的]

**三井住友海上プライマリー生命保険**

保険金支払能力： AA [格付の方向性：安定的]

---

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。**【格付理由】**

R&Iは、MS&ADインシュアランスグループホールディングス（証券コード：8725）の傘下で保険事業を営む4社の格付を維持した。方向性は安定的。

グループの収益力は、2017年度は北米のハリケーンなどの影響で大幅に低下したが、海外保険事業や生保事業の今後の利益成長を加味すれば、格付に見合う水準にある。2021年度までの中期経営計画では、グループ修正利益ベースで3500億円（2017年度は2010億円）に拡大することを目標に掲げている。利益貢献の高い国内損保事業は減少を見込むものの、海外保険事業や生保事業の利益成長でカバーし、グループ全体としては拡大する見込み。そのドライバーとなる英子会社MS Amlinの収益が着実に改善するか注目している。

北米のハリケーンなどの影響で計画通りの利益の積み上げが図れなかったものの、グループのリスク耐久力はAAゾーンの格付に見合う。先進国でのM&A（合併・買収）の意欲は相応に高いと考えられるものの、ERM（統合的リスク管理）の継続的な取り組み強化により、中長期的に格付に見合うリスク耐久力は維持できるだろう。事業の特性上、多頻度・大型化する自然災害リスクの高まりには留意が必要だ。首都直下地震などのテールイベントが発生した場合、保険金支払いのみにとどまらず、金融・資本市場の混乱に伴う資産運用損失も加わることが想定される。国内外の自然災害リスクと株式保有リスクが集中したリスクプロフィールを考慮すると、格付を維持することが困難な状況に陥るリスクがある。ERM強化の取り組みを続けながら、事業成長によるリスク分散、政策株式の売却の継続、利益による内部留保の積み増しでリスク耐久力の質の改善を今後も続ける必要がある。

**【個社の評価】****○三井住友海上火災保険／あいおいニッセイ同和損害保険**

両社はMS&ADグループの損害保険事業の中核会社で、MS&ADインシュアランスグループホールディングスの100%子会社。格付は共にグループ全体の信用力をそのまま反映している。個人・法人両分野で膨大な顧客基盤を抱え、グループでみた国内の損保事業の収入保険料はトップ。三井・住友両グループを中心に企業向け保険に強みを持ち、大株主であるトヨタ自動車や日本生命保険との関係も親密で事業基盤の維持・拡大に寄与している。

海外保険事業は、シンガポールのFirst Capital(現MS First Capital)の買収で、アセアンでのトップシェアの地位を確固たるものにしていく。また、生保分野への投資も積極的に行っている。

グループ修正利益の中核となる国内損保事業では、コンバインド・レシオ（損害率と事業費率を合計

---

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

した値)が2018年3月期も92.7%(2社単純合算ベース)と良好な水準を維持した。2021年度までの中計期間を通じて95%以下で安定的に維持する見通し。ただ、自動車の保有台数の伸びは今後期待しにくく、消費増税や民法改正による法定利率の引き下げも予定されている。加えて、値上げが続いた保険料も足元では値下げとなっている。事業費の効率化の取り組みと合わせて、慎重なプライシングにより現状の高い収益性を今後も継続できるか注目していく。

#### ○三井住友海上あいおい生命保険

グループの生命保険事業の中核会社で、MS&ADインシュアランスグループホールディングスの100%子会社。格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。

三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の損保代理店網を活用した生損保の併売戦略を柱として、生保代理店や金融機関、直販営業社員などマルチチャネルで展開している。収益性の高い総合収入保障保険や医療保険を中心に保有契約は順調に伸びており、経済価値ベースの収益力は良好だ。一定のALM(資産・負債の総合管理)リスクを抱えているものの、引き続きリスクとバッファのバランスは保たれている。低金利環境が継続する中でも、第三分野を中心とした販売拡大や経費効率の改善を通じて、収益力を高めていけるか見守っていく。

#### ○三井住友海上プライマリー生命保険

MS&ADインシュアランスグループホールディングスが100%出資する生命保険会社。グループの生命保険事業の中でも、金融機関を通じた資産形成型商品の販売に特化しており、グループにおける戦略的位置付けは極めて高い。格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。

円金利の低迷が長引く中でも、外貨建て商品の販売に注力し、窓販専門としてトップクラスの実績を上げている。金融・資本市場の影響を受けやすいが、保有契約の増加で利益の安定性は高まっている。販売拡大に伴う資産運用リスクの増加も、現状では適切にコントロールされている。もっとも、外貨建て商品市場には大手生保も参入して競争が激化しており、利幅には縮小圧力がかかっている。そうした中でも顧客ニーズを捉えた商品開発により保有契約を積み上げるとともに、ALMに配慮した運用を行っていくことで、引き続き一定の利益を確保していけるか注目していく。

#### 【格付対象】

発行者：三井住友海上火災保険

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	AA(維持)		安定的	
名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	1,000	2016年02月10日	2076年02月10日	A+(維持)
第2回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	500	2016年02月10日	2076年02月10日	A+(維持)
第3回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	500	2017年12月12日	2077年12月10日	A+(維持)
第4回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	800	2017年12月12日	2077年12月10日	A+(維持)

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

発行者：あいおいニッセイ同和損害保険

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	AA（維持）		安定的	
名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第1回無担保社債（劣後特約付）	220	2012年09月27日	2022年09月27日	AA-（維持）
名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付	
コマーシャルペーパー	750	無担保	a-1+（維持）	

発行者：三井住友海上あいおい生命保険

名称	格付	格付の方向性
保険金支払能力	AA（維持）	安定的

発行者：三井住友海上プライマリー生命保険

名称	格付	格付の方向性
保険金支払能力	AA（維持）	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	三井住友海上火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険： 中島 快 三井住友海上あいおい生命保険、三井住友海上プライマリー生命保 険： 肝付 卓也
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2018年08月13日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018. 05. 31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2017. 03. 07] 損害保険 [2017. 05. 18] 生命保険 [2013. 10. 31] 金融グループの格付の考え方 [2018. 08. 09] 規制資本商品等と金融機関等の格付の考え方 [2016. 10. 20] ハイブリッド証券の資本性の評価と格付の視点 [2018. 06. 08]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載 しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html</a>	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html</a>	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html</a>	
格付関係者	三井住友海上火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険、三井住友 海上あいおい生命保険、三井住友海上プライマリー生命保険、大和 証券
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保され ている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた 信頼性が確保されている情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約 定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債 務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何 ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来 の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその 他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項 について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これら の情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合 には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信 用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。